～音楽が紡ぐ“縁”～

HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

広島交響楽団第390回定期演奏会　THE 390TH SUBSCRIPTION CONCERT

指揮
下野　竜也
Conductor
Tatsuya Shimono

2019.5.24（金）
18:45開演〔17:45開場〕
Fri May 24, 2019 Start 18:45[Open 17:45]

広島文化学園HBGホール
〒730-8787 広島市中区加古町3-3
Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

ブルックナー：交響曲第5番変ロ長調（原典版）
Bruckner：Symphony No.5 in B-flat major WAB.105 (Original version)

Concertmaster：佐久間 聡一 Soichi Sakuma 、蔵川 瑠美 Rumi Kurakawa

チケット（税込／全席指定）
S席5,200円・A席4,700円・B席4,200円（学生券1,500円）
※学生席は小学生以上、25歳以下の学生が対象。要学生証。（広響事務局のみで取り扱い）
チケット発売日
一般プレイガイド 2019年3月24日（日）／広響事務局 2019年3月25日（月）

プレイガイド
エディオン広島本店・福屋八丁堀本店プレイガイド・福屋広島駅前店チケットサロン
アルパーク天満屋チケットサロン・広島アーツ楽器・ヤマハミュージック広島店管弦打楽器売場
ローソンチケット（Lコード:62081）・チケットぴあ（Pコード:142-481）・中国新聞社読者広報部
中国新聞販売所（取り寄せ）・広響事務局

主　催／公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社
プレミアム協賛／ youme
後　援／広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、月刊ウェンディ出版局

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。
※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。
※このコンサートには途中休憩がございません。
開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。
（係員の指示に従ってご入場ください）

beyond 2020

広響公式ホームページ ▶
HP：http://hirokyo.or.jp

お問い合わせ ▶ 広響事務局 TEL：082-532-3080

下野・広響、ブルックナーへの飽くなき探求

下野竜也がブルックナーに心酔する所以は下野の"縁"によるものと言えます。朝比奈・大阪フィルでの研鑽、ウィーンへの留学、読響でのスクロヴァチェフスキとの出会い、そして別れ…広響も下野との縁が結ばれたことで、ブルックナーが楽団の重要なレパートリーとなり、深みを増しつつあります。下野3年目のブルックナーは「第5番」をチョイス。ブルックナー・ファンの中には、後期3大交響曲よりも第5番を推す人も多いと聞きます。構築性とその壮大さから、ブルックナーの核心の扉を開く重要な作品と言えます。これは絶対聴き逃せません。

指揮／下野 竜也

Conductor ／ Tatsuya Shimono

広島交響楽団音楽総監督、広島ウインドオーケストラ音楽監督、京都市交響楽団常任首席客演指揮者、京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授。
1969年鹿児島生まれ。鹿児島大学教育学部音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部附属指揮教室で学ぶ。1996年にはイタリア・シエナのキジアーナ音楽院でオーケストラ指揮のディプロマを取得。1997年大阪フィル初代指揮研究員として、（故）朝比奈隆氏をはじめ数多くの巨匠の下で研鑽を積む。1999年文化庁派遣芸術家在外研修員に選ばれ、ウィーン国立演劇音楽大学に留学、2001年6月まで在籍。
2000年東京国際音楽コンクール<指揮>優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴び、以降、国際的な活動を展開。国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、海外においても、ローマ・サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、ミラノ・ヴェルディ響、ストラスブールフィル、ボルドー管、ロワール管、ウィーン室内管、カンヌPACA管、チェコフィルハーモニー管、シュツットガルト放送響、南西ドイツフィルコンスタンツ、シリコンバレー響など次々と客演を重ねている。
読売日本交響楽団の初代正指揮者（2006年～2016年）を経て、同団首席客演指揮者（2013年～2017年3月）として、10年余りの間にヒンデミットとドヴォルジャークを軸としつつ新作初演まで取り組む意欲的な姿勢とプログラム構成で高い評価を獲得。更に2014年4月からは京都市交響楽団の常任客演指揮者に就任し、2017年4月には、同団常任首席客演指揮者に就任。2011年から音楽監督を務める広島ウインドオーケストラとは、吹奏楽の分野に新たな一石を投じる活動で注目を集めている。2017年4月広島交響楽団音楽総監督に就任。
これまでに、2002年出光音楽賞、渡邉曉雄音楽基金音楽賞、2006年第17回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2007年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、平成24年度（第63回）芸術選奨文部科学大臣賞、平成25年度第46回MBC賞、2014年度第44回東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、平成28年第67回南日本文化賞特別賞などを受賞。
鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。
2017年4月、京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授に就任。

公式ホームページ　http://www.tatsuyashimono.com/

2019.6.8（土）

広島交響楽団
第391回
定期演奏会

広島文化学園HBGホール
15:00開演（14:00開場）

新たな出会い

楽団にとって新たな演奏家との出会いはいつもワクワクします。今回は指揮者もソリストもフレッシュで有望な若手をお迎えします。イルジー・ローゼン28歳、特に昨シーズンの活躍には目を見張ります。ベルリン・ドイツ響、BBCフィル、アルスター管、チェコ・フィル等に客演し、いずれも成功を収め、チェコ・フィルからは重要なプロジェクトを任せられるに至っています。この度の広響への客演が日本デビューということで、広響がこれまで培ってきた北欧プログラムに挑戦いただきます。現在ロシアで研鑽を積む奥井紫麻、すでにゲルギエフ指揮のマリインスキー歌劇場管と共演済という驚異の15歳。演奏を聴いたキーシンから驚嘆のコメントが寄せられ話題となる等、聴衆だけでなく共演者を含め、その場の全てを虜にしてしまう魅力の持ち主です。二人とも今回は広島だけのために来日します。広島の地で結ばれる新たな"縁"が将来どのように発展するのか、楽しみです。

ステンハンマル：交響的序曲「エクセルシオール！」
Stenhammar：Symphonic Overture "Excelsior!" Op.13

グリーグ：ピアノ協奏曲イ短調
Grieg：Piano Concerto in A minor Op.16

ニルセン：交響曲第4番「不滅」
Nielsen：Symphony No.4 Op.29 (FS.76) "The Inextinguishable"

©Ilona Sochorova

指揮／イルジー・ローゼン
Conductor : Jiří Rožeň

©Takahiro WATANABE

ピアノ／奥井 紫麻
Piano : Shio Okui

あなただけのマイシート

2019年度
年間定期会員募集のご案内

定期全10回公演　S席／37,500円　A席／33,500円　B席／29,500円

お申し込みは広響事務局までお電話ください。（受付期間 2019年2月7日～4月12日）